

埼玉医科大学国際医療センター 地域医療連携 News



基本理念：患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

使 命：当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

基本方針：上記の理念に従って患者中心主義（patient-centered）を貫き、あらゆる面で“患者さんにとって便利”であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供致します。

患者さんの権利：当センターは、全ての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- | | | |
|---------------------|----------------------|-------------------|
| (1) ひとりひとりが大切にされる権利 | (2) 安心して質の高い医療を受ける権利 | (3) ご自身の希望を述べる権利 |
| (4) 納得できるまで説明を聞く権利 | (5) 医療内容をご自身で決める権利 | (6) プライバシーが守られる権利 |

目次

第81回 地域医療連携懇話会 2018年7月18日

「在宅医療における病診連携の重要性」

杏クリニック 院長

鬼澤 信之 4

「西多摩地域における在宅医療の現状」

進藤医院 院長

進藤 幸雄 6

第82回 地域医療連携懇話会 2018年9月19日

「当院の大腸がんの治療成績」

国際医療センター 消化器外科 講師

石井 利昌 8

「内視鏡を通じた地域医療連携」

医療法人社団シャローム シャローム病院 外科部長

小澤修太郎 10

「大腸がん薬物療法の最近の話題から」

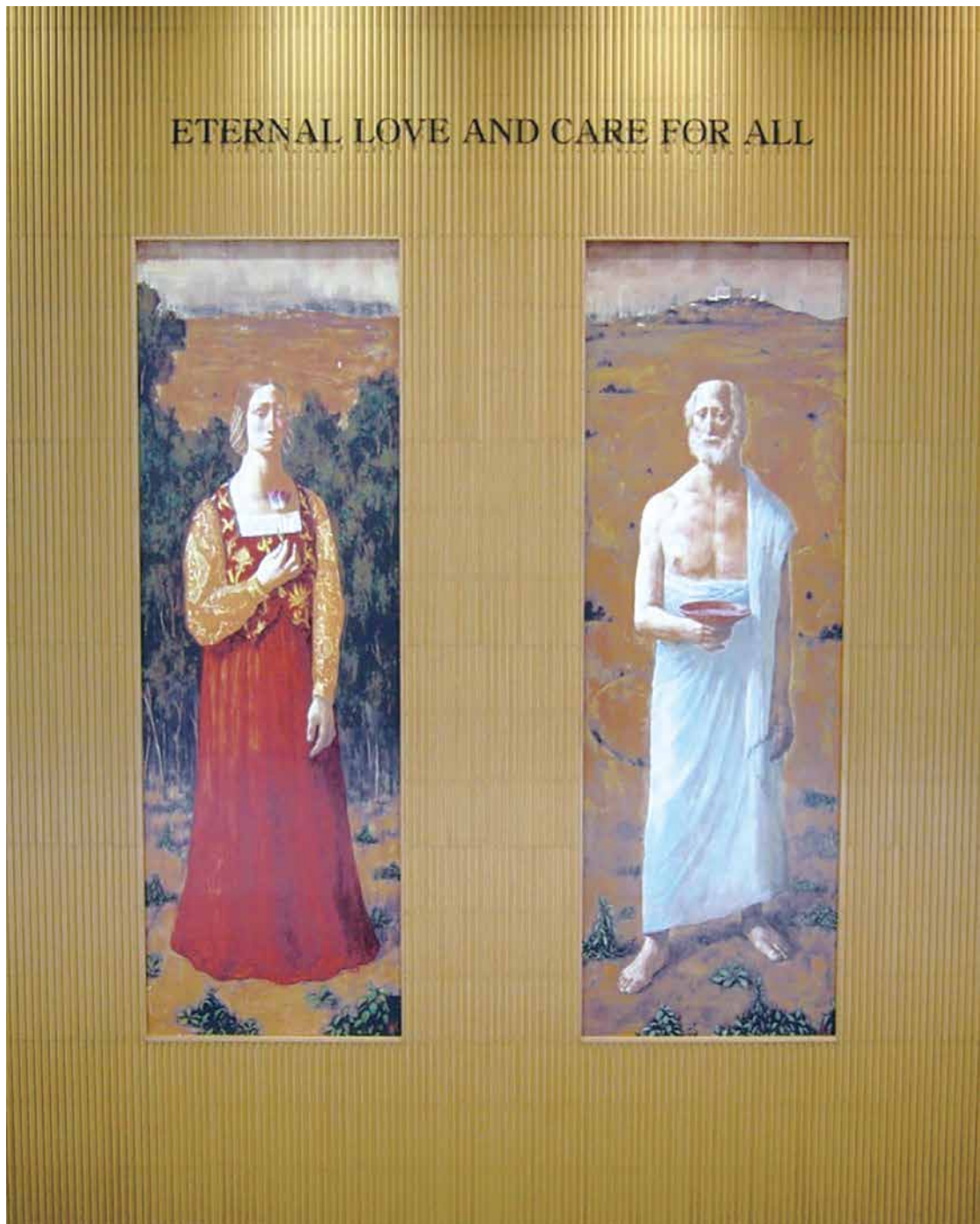
国際医療センター 消化器腫瘍科 教授

濱口 哲弥 12

その他のご案内

受診までの流れについて 14

インターネットでの予約受付について 15



在宅医療における病診連携の重要性

医療法人あんず会 杏クリニック 理事長 鬼澤 信之

在宅医療をテーマとしたこの度の地域医療連携懇話会では当院のご紹介と病診連携の重要性についてお話しさせていただきました。

杏クリニックは狭山市祇園にございます機能強化型在宅療養支援診療所です。平成 28 年 4 月に前身であるあんず訪問診療クリニックを開設し、医療法人あんず会設立と外来診療部門開設に伴い平成 30 年 4 月より医療法人あんず会杏クリニックと名称変更致しました。

私共のクリニックの特徴は重症化する在宅患者様に対応するために別にスライドでお示しするような医療処置や医療機器を活用しながら診療を行っている点にあると思います。また小児科・整形外科・形成外科・泌尿器科等の医師が往診に出向き自宅で可能な限り幅広い疾患に対応できるように努めております。

病院から自宅へ、あるいは自宅から病院へ。継ぎ目のない安全で円滑な医療形態の移行をするためには緻密な病院連携（入退院支援）が必要です。

退院支援に関しては主にかん緩和医療を受けている患者さんの予後の告知についてお話しさせていただきました。がんの病期によって

は退院後在宅医との付き合いは数日や数週間という場合もあります。患者さんがご自身の予後に関して十分な認識がないまま自宅へ戻れますと、短い時間の中で信頼関係を構築し建設的な緩和ケアの話し合いをするのは難しくなってしまう。可能であれば入院中に病院の先生方から予後について言及いただけると在宅緩和ケアへの移行がより一層円滑に進むと考えます。

在宅から入院医療への移行時には在宅医と病院の先生との間で入院治療のゴールの共有ができていないことが理想ではないでしょうか。特に高齢者は複数の基礎疾患を有している場合が多く、入院が長期化すると認知症を始めとする他の疾患の増悪、サルコペニアの進行や認知機能の低下も懸念されます。急性期を脱した後、点滴による加療等も在宅で引き継げる場合があります。積極的に在宅で引き継げるよう準備いたしますのでご相談ください。



医療機関情報

医療機関名：医療法人あんず会 杏クリニック

所在地：〒350-1307 埼玉県狭山市祇園 25-1 第一はまビル 3 階

TEL：04-2935-3882

診療科目：内科、腎臓内科、老年内科、緩和内科

診療時間：【在宅医療】24 時間体制、

【外来部門】月曜日 13:00～16:00 / 17:00～21:00

(2019 年 4 月現在)



在宅で行う処置

中心静脈カテーテル挿入



腹水ドレナージ



関節注射



内視鏡を使った嚥下機能の評価



形成外科医による
褥瘡処置

胸水ドレナージ

在宅で行う検査



レントゲン



超音波



心電図



迅速血液検査



デジタルスコープ
(眼底鏡・耳鏡)



血液ガス

鬼澤先生からのコメント

当院は平成28年に在宅医療に特化した診療所として開設しました。連携医療機関の皆さま、狭山市医師会や埼玉医大の先輩方、訪問看護ステーションをはじめとする他事業所の皆様に助けていただくことで今日まで診療を続けることができました。心より御礼申し上げます。若輩者ではありますが我々の地域で暮らす患者さんに質の高い在宅医療を提供できるよう日々研鑽してまいります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

西多摩地域における在宅医療の現状

進藤医院 院長 進藤 幸雄

この度は、埼玉医大地域医療連携懇話会で発表の御機会を頂き、誠にありがとうございました。当院は、平成 23 年に青梅市千ヶ瀬町に開業した内科診療所です。同一法人として大久野病院、訪問看護ステーション、訪問リハビリ部門、居宅介護支援事業所があります。午前中は主に外来診療を行い、午後は非常勤医 4 名の協力を得て、外来及び訪問診療を行っております。

西多摩地域は人口約 40 万人、面積は東京都の 26% を占める広範な地域ですが、約 7 割は山林で、極端な高齢化や過疎化の進行する町を含んだ地域です。

2017 年 11 月に東京都地域医療構想会議、西多摩在宅療養ワーキングが開催され、西多摩地域における在宅医療の現状と課題についての話し合いが行われました。この中で、2025 年には東京都全体の在宅療養患者数が現在の約 1.5 倍に増加する予測が示され、西多摩地域においても在宅医療の充実が喫緊の課題であることが示されました。西多摩地域の在宅療養支援診療所は、最も高機能な区分 1 はなく、区分 2、3 を合わせて 16 件で、そのほとんどは医師一人体制の診療所であり、在宅医療を担う医療機関

の不足が示唆されました。また、移動距離が長く非効率的な地域であり、今後の在宅医療の充実もあまり期待できないことが推測されました。また、課題点として在宅医と病院との連携に関する問題が挙がり、この問題を解決するため、西多摩地区病院会主催のワーキンググループが新たに結成されました。急性期病院、慢性期病院、在宅療養支援診療所が定期的に話し合いを行い、問題点を表出化し、解決策を検討しています。現在までに、病院の入り口問題、例えば不必要な救急搬送を減らす対策、高齢者の事前の意思確認の強化や急変時の患者トリアージ等、そして出口問題として療養型病院との連携強化等について議論されています。現在、これらの結果を踏まえ、勉強会等を企画しているところです。



医療機関情報

医療機関名：医療法人社団 利定会 進藤医院

所在地：東京都青梅市千ヶ瀬町 6 丁目 -797-1

TEL：0428-78-3111

診療科目：内科、消化器内科、リハビリテーション科

診療時間：

時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～ 12:00	●	●	●	—	●	●
午後 15:00～ 18:00	● (担当医)	● (担当医)	●	—	● (担当医)	—

休診日：木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日、年末年始

診療受付：診療終了 15 分前までです。



医療法人財団 利定会

◆入院施設

- (1)大久野病院 西多摩郡日の出町 158床
 ・回復期リハビリ病床 ・医療療養病床 ・介護療養病床



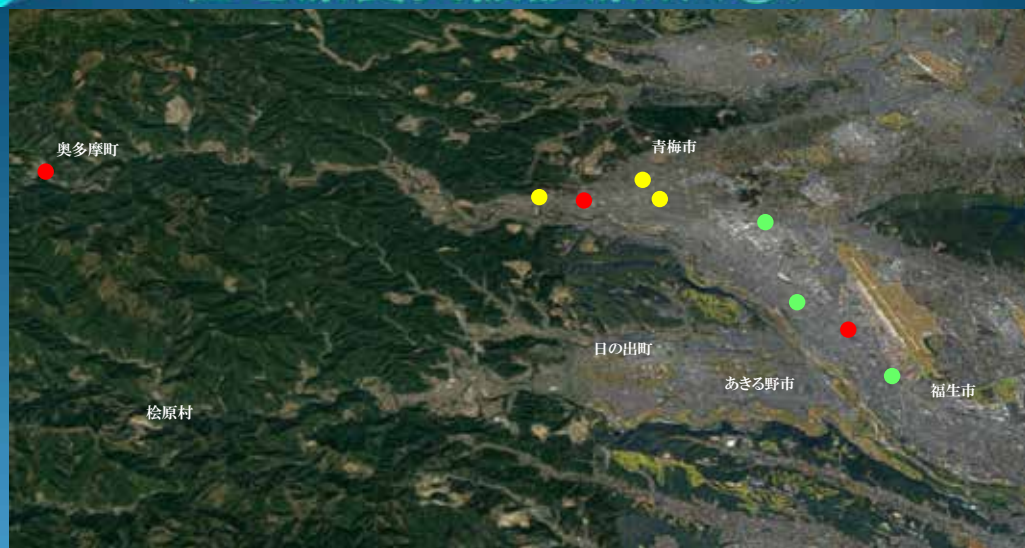
◆在宅部門

- (1)進藤医院 青梅市千ヶ瀬町
 機能強化型在宅療養支援診療所
 内科 消化器内科 リハビリテーション科
 医師常勤1名、非常勤医師4名 看護師2名 事務2名
- (2)訪問看護ステーション： 訪問看護師7名 事務2名
- (3)訪問リハビリ： 理学療法士4名 作業療法士2名 言語聴覚士1名
- (4)居宅介護支援事業所： ケアマネージャー4名



医療法人財団 利定会
 進藤医院

在宅療養支援診療所(②)



在支診②の届出 9件
 実際には外来中心で、訪問診療所としては機能していない診療所もある
 お互いに連携し、補完しあう機能はどこも、ほとんど機能していない

進藤先生からのコメント

当院は東京都青梅市にあり、埼玉医科大学国際医療センターから車で40分程度の距離にあります。近隣には中核病院として青梅市立総合病院があり、日常の病診連携に大変お世話になっております。更に高度な医療が必要な場合に貴院をご紹介させて頂いております。最近も早期胃癌の内視鏡治療を実施して頂き、大変感謝しております。今後も病診連携の最後の砦として大変頼りにしております。今後とも宜しくお願ひしたい次第です。

当院における大腸癌への取り組みと治療成績

国際医療センター 消化器外科 講師 石井 利昌

当院も開院より 10 年以上が経過いたしましたので、当科における大腸癌への取り組みと長期治療成績を提示いたします。

開院から 10 年の当科の取り組みとしては傷の小さい手術である腹腔鏡下手術の適応の拡大、直腸癌に対する肛門温存術（括約筋間直腸切除術 ISR）の施行が挙げられます。

大腸癌の年間手術症例数は増加を続けており、現在では年間約 450 症例の手術を施行しております。腹腔鏡下手術の割合も徐々に増加しており、3 年前より 90% 以上を推移しております。また腹腔鏡下手術から開腹手術への移行率も 2% 程度（2016 年度：結腸癌 1.5%・直腸癌 1.2%）と低値であり、多くの症例で腹腔鏡下での手術を完遂しております。腹腔鏡下手術の手術時間は結腸癌 160～180 分・直腸癌 240～260 分程度であり、出血量は結腸癌 20～30g・直腸癌 30～40g であり、安定した手術が施行されています。大腸癌の 5 年生存率は Stage I：結腸癌 87.7%（大腸癌研究会による全国登録 92.3%）・直腸癌 92.4%（全国登録 90.6%）、Stage II：結腸癌 83.0%（全国登録 85.4%）・直腸癌 87.7%（全国登録 83.1%）、Stage III

a：結腸癌 82.1%（全国登録 80.4%）・直腸癌 78.9%（全国登録 73.0%）、Stage III b：結腸癌 71.1%（全国登録 63.8%）・直腸癌 64.7%（全国登録 53.5%）でありました。

肛門近傍の直腸癌における肛門非温存手術（直腸切断術）は 10 年間に 124 例でありましたが、肛門を温存した ISR は 158 例であり、肛門温存症例が上回っております。

当科も 10 年が経過しスタッフによる安定した腹腔鏡下手術、肛門温存術の治療が可能となりました。また教育機関として全国から医師の研修を行い、技術の普及に努めてまいりました。

今後は治療成績の向上や低侵襲を目標とし、新たな手術（ロボット手術、Reduced Port Surgery など）や技術（直腸癌における Transanal total mesorectal excision など）への取り組みを行ってまいります。



診療科情報

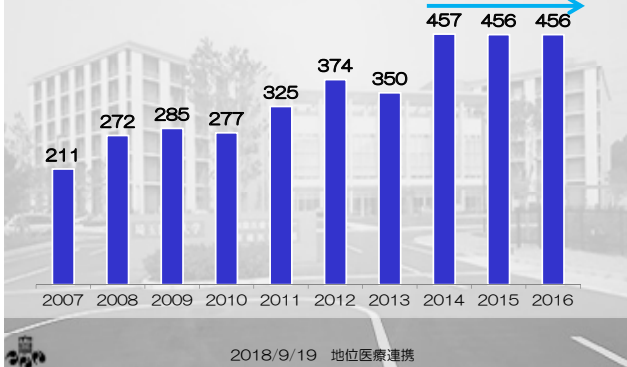
担当医表：

消化器外科 (下部消化管外科)	月	火	水	木	金	土	外来医長
初診	石井 利昌	近藤 宏佳	平能 康充	山口 茂樹	原 聖佳	小原 尚	
午前	石井 利昌	近藤 宏佳	平能 康充	山口 茂樹	原 聖佳	小原 尚	平能 康充
午後	石井 利昌	近藤 宏佳	平能 康充	山口 茂樹	原 聖佳	小原 尚	

当院は予約制です。

患者さんからのご予約：予約センター TEL：042-984-0476
医療機関からのご予約：地域医療連携室 TEL：042-984-4433

大腸癌年間手術症例数



結腸癌 腹腔鏡成績

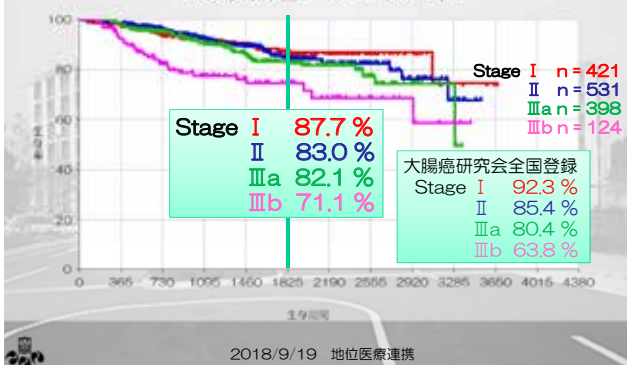
	2014	2015	2016
腹腔鏡率 %	92.2	91.4	90.7
手術時間 min	166.6	166.8	182.9
出血量 g	29.3	34.1	20.3
合併症 %	10.9	15.6	14.9
開腹移行率 %	3.0	3.2	1.5

直腸癌 腹腔鏡成績

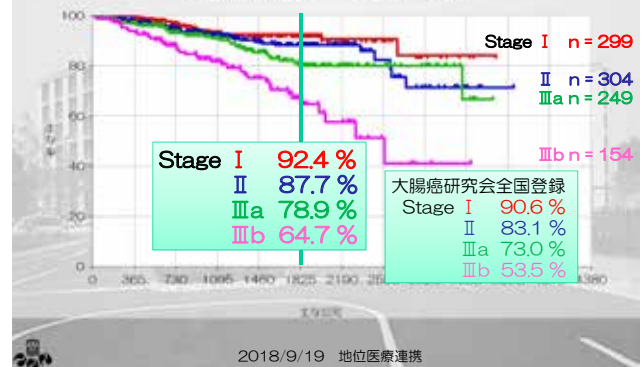
	2014	2015	2016
腹腔鏡率 %	93.8	95.5	94.2
手術時間 min	243.9	255.7	256.0
出血量 g	34.7	40.1	30.8
合併症 %	24.1	29.6	25.9
開腹移行率 %	2.1	2.7	1.2

2018/9/19 地位医療連携

結腸癌 生存率



直腸癌 生存率



石井医師からのコメント

これからも消化器病センターとして内科（内視鏡）、外科（手術）、腫瘍内科（化学療法）と連携を行い大腸癌の治療に邁進してまいります。当院は地域医療機関の先生方のご紹介・バックアップをいただき成り立っております。地域の先生方には10年間多大なご支援をいただきましてありがとうございました。今後ご迷惑をかけることもありますが、ご支援のほどよろしく願いいたします。

内視鏡を通じての地域医療連携

シャローム病院 外科部長 小澤修太郎

本講演では当院の内視鏡治療、高次医療機関への紹介、地域医療研修について発表をいたしましたので要約します。

我々は日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設として学会専門医 3 名（うち非常勤 1 名）体制のもと年間約 600 例の大腸内視鏡検査をしています。内視鏡治療は主に 2cm 以下の大腸腫瘍に対する EMR と Polypectomy です。過去 3 年分の治療件数は 241 件で切除病変数は 323 個、うち腫瘍性病変は 278 個でした。組織学的切除断端陰性率は 79%、陽性率は 2%、残りは組織の挫滅などで評価困難でした。断端陽性の 1 例に SM 深部浸潤癌があり埼玉医科大学国際医療センターに紹介し追加治療をして頂きました。我々の管状腺腫摘除率はまだ満足のものとはいえないため更なるスキルアップを目指しております。

高次医療機関への紹介症例は主に進行大腸癌、ESD 症例などです。過去 3 年、内視鏡診断された大腸腫瘍のうち紹介例は 48 例、うち 44 例を埼玉医科大学国際医療センターに紹介させて頂きました。常に的確な治療をして頂き感謝しております。今後も地域医療連携を介し大腸癌の

予後向上に役立てるよう努力します。

最後に、当院は臨床研修協力施設として多くの研修医に来て頂いております。恩師である故尾本良三先生は「後輩を一生懸命指導しなさい。そして自身も一生懸命勉強し研修医を敬遠せず時間をかけて面倒をみなさい。」とよく話され、もしもいい加減な指導をすると徹底的に怒られました。これは決して簡単な事ではありません。しかし私の研修医時代を振り返りますと時間を惜しまず指導して頂いた先生方は尊敬すべき指導医であり今も素晴らしい先輩であります。また指導を通じて若い先生方と接する度に彼らのスキルアップ習得のための高いモチベーションに刺激を受けます。最近あまり勉強をしなくなった我々も彼らを見習い更に成長したいと思えます。

今後ともよろしくお願い致します。



医療機関情報

医療機関名：医療法人社団 シャローム病院
 所在地：埼玉県東松山市松山 1496
 TEL：0493-25-2979
 診療科目：一般外来（内科・外科・消化器外科・肛門外科）・
 皮膚科（美肌診療・自費加療は完全予約制）・乳腺外科・
 神経内科・循環器内科・緩和ケア内科・
 小児科（ワクチンは完全予約制）・人工透析内科・麻酔科
 診療時間（一般外来）：

時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	小澤 金子 柳原 (9:30~)	鋤柄 櫻井	小澤 西澤	鋤柄 狩野 林	狩野 宮田	鋤柄 小澤 伊藤 (第1・3・5週)
午後(月~金) 14:30~18:30 午後(土) 16:00~18:30	柳原 (18:00まで) 金子 沼尻	小澤 野村	狩野 西澤	鋤柄 小澤 佐伯	鋤柄 宮田	鋤柄(第1週) 小澤(第2・3週) 狩野(第4・5週) 田口・岡村 (17:00~)

※原則予約制
 日・祝日休診
 夏季(8/13・14・15)・年末年始(12/30・31・1/1・2・3)休診あり
 急な変更の可能性もございます。



当院の大腸腫瘍に対する内視鏡的治療 (2015~2017年度)

- ・ 治療件数：241症例
(男:157 女:84) 63.4±10.2歳
- ・ 切除病変数：323
 回収病変：308 (回収率 95.3%)
 腫瘍性病変：278 非腫瘍性病変：30
- ・ 治療手技
 Polypectomy：153 EMR：142 不明：28

切除病変の組織型と切除断端評価

	－	±	＋
Tubular	126	44	2
Tubular with HGD	56	8	2
Tubulovillous	8	0	0
Villous	2	0	0
Serrated	8	0	0
Cancer	20	1	1
	220	53	5

－：組織学的断端陰性 ＋：断端陽性 ±：断端不明瞭

小澤先生からのコメント

当院では消化器がん2次検診として上下部消化管内視鏡検査（上部は経口および経鼻内視鏡）を行っております。また日本外科学会および日本消化器外科学会の専門医制度修練施設（関連施設）であり、一泊二日入院で行う鼠径ヘルニア、内痔核などの手術も行っております。その他、美容的に創の配慮をした脂肪腫、アテローマなどの外来手術も行っております。ご紹介いただければ幸いです。

大腸がん薬物療法の最近の話題から

国際医療センター 消化器腫瘍科 教授 濱口 哲弥

切除不能な消化器癌は基本的には根治困難な病態であり、がん薬物療法をしなければ大腸癌で8ヶ月程度、それ以外の消化器癌では4ヶ月程度で約半数の方が死に至ります。一方、がん薬物療法により、大腸癌であれば30ヶ月、それ以外の消化器癌では10～12ヶ月程度を約半数の方が越えられるようになります。大腸癌以外の消化器癌ではがん薬物療法による生存期間延長期間は「月」単位であり、まだまだ発展途上にあると言えます。大腸癌では約2年の生存期間延長となりますので、日常生活でのQOLを維持することも重要視して治療を行っています。切除不能な大腸癌の化学療法を行う際には、患者の全身状態、腫瘍の遺伝子プロファイル、そして治療のゴールを定めて治療戦略を検討します。治療のゴールには、「腫瘍縮小」と「腫瘍維持（大きくさせない）」のふたつに大きく分かれます。前者は、少々副作用がきつくても腫瘍を縮小させることにより「切除不能」から「切除可能」な病態とし、根治を目指した手術に移行することを目標にします。手術ができるようになれば30-40%程度の方は根治できると言われています。また切除不能であっても腫瘍量が多

くがん性疼痛などの苦痛がある患者には腫瘍を縮小することで苦痛が和らぐことができます。このように短期的に腫瘍を縮小させることで患者に大きなメリットを与えられることが期待できます。一方で、腫瘍量は少なく複数の臓器に転移がある場合には、腫瘍縮小が得られても手術に移行することはありません。そのような患者では長期戦で望む、すなわち副作用と効果のバランスを考えて治療法を選択することになります。これから新薬の承認やがんゲノム医療の実装によりがん薬物療法は時間はかかりますが徐々に治療成績が向上していくことが期待されています。このような先進的な医療を取り入れながら埼玉県西部地域の消化器癌薬物療法をしっかりと担っていきたいと思っています。



診療科情報

担当医表：

消化器腫瘍科	月	火	水	木	金	土	外来医長
初診 (午後)	—	濱口 哲弥	—	三原 良明	堀田 洋介	—	堀田 洋介
午前	濱口 哲弥 三原 良明	濱口 哲弥 堀田 洋介	濱口 哲弥 三原 良明	堀田 洋介 三原 良明	堀田 洋介	—	
午後	濱口 哲弥 三原 良明	濱口 哲弥 堀田 洋介	濱口 哲弥 三原 良明	堀田 洋介 三原 良明	堀田 洋介	—	

当院は予約制です。

患者さんからのご予約：予約センター TEL：042-984-0476

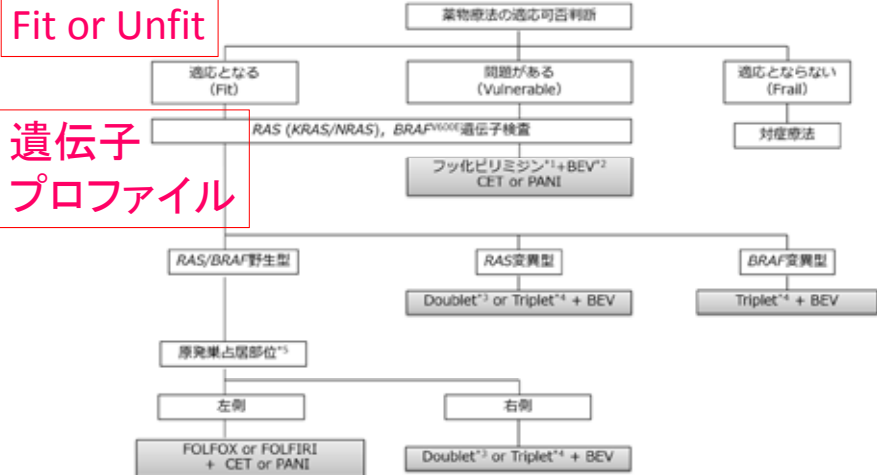
医療機関からのご予約：地域医療連携室 TEL：042-984-4433

第82回地域医療連携懇話会

一次治療で推奨されるレジメン

一次治療で推奨されるレジメン

推奨されるレジメン以外の治療を選択することも可能である。推奨されるレジメンを含む選択可能なレジメンは、「臨床試験において有効性が示されており、かつ保険診療として国内で使用可能なレジメン」の項を参照。



BEV: Bevacizumab, CET: Cetuximab, PANI: Panitumumab

*1: フッ化ピリミジン: S-FUJ+LV, UFT+LV, S-1, Cape

*2: BEVの利用が推奨されるが、適応とならない場合はフッ化ピリミジン単独

*3: Doublet: FOLFOX, CAPOX, SOX, FOLFIRI, S-1+IRI

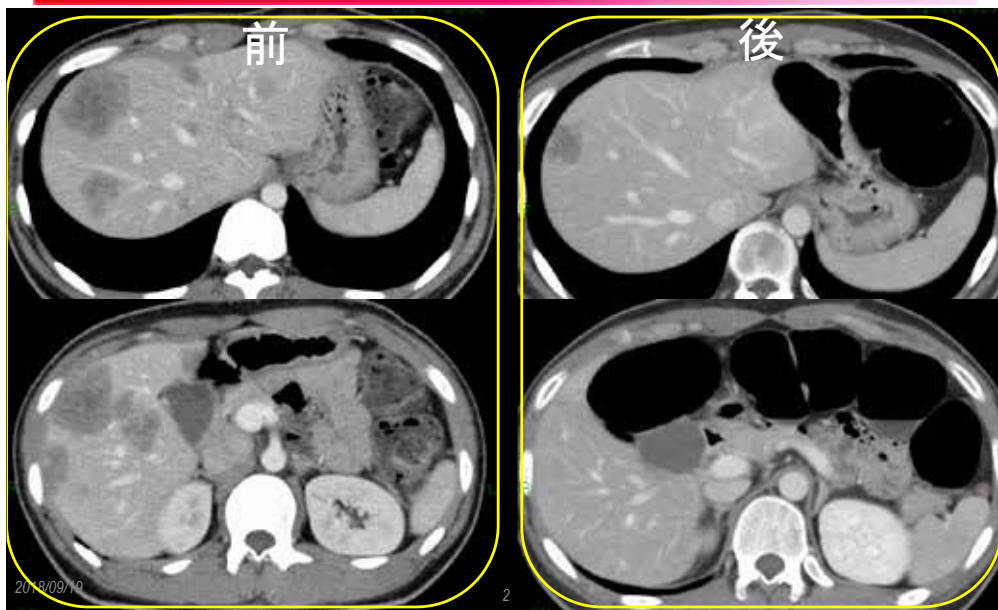
*4: Triplet: FOLFOXIRI

*5: 腫瘍占拠部位の左側とは下行結腸, SIRM腸, 直腸, 右側とは盲腸, 上行結腸, 横行結腸を指す。

大腸癌治療ガイドライン2019年版(案)
第89回大腸癌研究会公聴会@新潟

第82回地域医療連携懇話会

腫瘍縮小⇒外科手術:根治へ!



濱口医師からのコメント

消化器腫瘍科では消化器癌に対するがん薬物療法を専門的に扱っています。まだ治癒にはほど遠い現状がありますが、根治困難な消化器癌を患った方に対してQOLを維持しながら少しでも長く日常生活を送っていただけるようにすることが我々の使命です。これからがんゲノム医療や新規薬剤の臨床研究などにも携わり埼玉西部地域にて先進的ながん薬物療法が提供できるよう心がけています。引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

受診までの流れ

患者さんからの予約の取り方



① 紹介状を患者さんにお渡しください。

② 患者さん、又はそのご家族が当院の予約センターに電話をおかけください。



③ 予約センターにて予約させていただきます。



初診予約専用		042-984-0476
再診予約	心臓病・脳卒中センター	042-984-0474
	包括的がん・通院治療センター	042-984-0475

④ 予約日に紹介状を持参の上
ご来院ください。



医療機関からの予約の取り方



① 紹介状を患者さんにお渡しください。

② 当院の地域医療連携室に電話をおかけください。



③ 地域医療連携室にて予約させていただきます。



医療機関専用	地域医療連携室	042-984-4433
--------	---------	--------------

④ 患者さんに予約日時を伝え、
予約日に紹介状を持参の上
来院されるよう
ご説明ください。



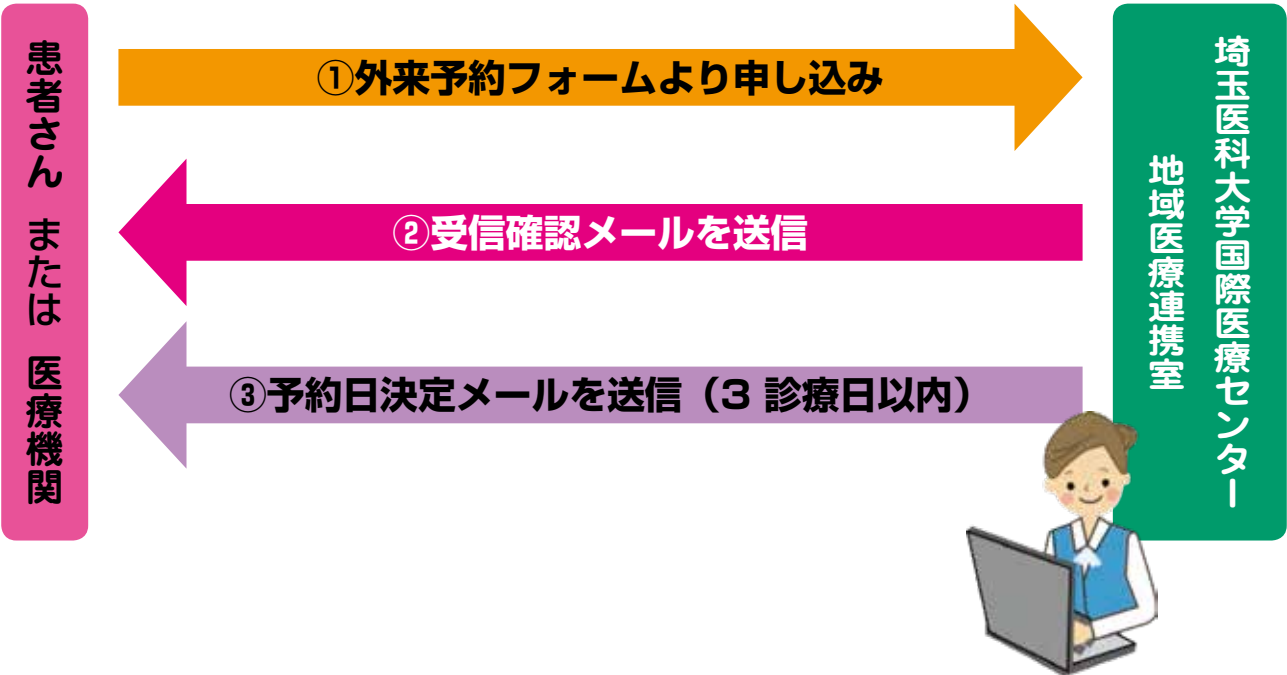
国際医療センター

インターネットで初診患者さんの予約を受付しています



当院ホームページからがん・心臓病・脳卒中に関する受診を希望される初診の患者さんについてインターネットでの予約を受付しています。医療機関からはもちろん、患者さんや御家族がご自宅から予約可能です。ご活用ください！

予約の流れ



- ### インターネット予約がご利用頂ける方
- ① がんの診断を受けていて、これから治療を予定されている方、心臓病・脳卒中に関する受診を希望される方
 - ② 外来受診予約の方
 - ③ 初診の方
 - ④ 紹介状をお持ちの方

- ### インターネット予約がご利用頂けない方
- ① メールアドレスのない方
 - ② がん・心臓病・脳卒中以外の疾患で受診の方
 - ③ 再診の方
 - ④ 紹介状をお持ちでない方
 - ⑤ セカンドオピニオン予約の方

インターネット予約がご利用頂けない方は下記電話番号にご連絡ください

患者さんから	初診予約専用		042-984-0476
	再診予約	心臓病・脳卒中センター	042-984-0474
		包括的がん・通院治療センター	042-984-0475
医療機関専用	地域医療連携室		042-984-4433
セカンドオピニオン予約			042-984-4108

詳しくは、埼玉医科大学国際医療センター HP をご覧ください。

地域医療連携懇話会と包括的がんセンター教育カンファレンスのご案内を申し上げます。
ご多忙中の事とは存じますが、医師・コメディカルおよび連携室の皆様方お誘いの上、ご参加くださいますよう宜しくお願い致します。

地域医療連携懇話会 開催のご案内

日 時：原則隔月第3週水曜日

19:15~20:30

場 所：埼玉医科大学国際医療センター 教育研究棟2階大講堂

内 容：地域医療連携懇話会は地域がん診療拠点病院の認定項目であり、地域の病院との情報交換の場で定期的に同一会場にて開催しています。

参加についてのお問い合わせは地域医療連携室（電話 042-984-4433）で承ります。

包括的がんセンター教育カンファレンス 開催のご案内

日 時：毎月第4週月曜日

18:30~19:30

場 所：埼玉医科大学国際医療センター C棟2階会議室

内 容：包括的がんセンター教育カンファレンスは、包括的がんセンターの各診療科が持ち回りで担当し、毎月第4月曜日 18:30~19:30に開催しております。対象は、医師および看護師、薬剤師で、各診療科の疾患および研究について教育的な講演を行っていますので、地域の先生方もぜひご参加いただくと幸いです。

参加についてのお問い合わせは教育カンファレンス事務局(電話 042-984-4233)で承ります。



Organization Accredited
by Joint Commission International

埼玉医科大学国際医療センター 地域医療連携 News (第21号)

編集・発行：埼玉医科大学国際医療センター
地域医療連携室

編集責任者：古屋 大典

発行責任者：佐伯 俊昭

住 所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

TEL：042-984-4433

FAX：042-984-4740

発行日：2019年5月15日

URL：<http://www.international.saitama-med.ac.jp/>